

# 第53期 中間事業報告書

平成11年4月1日～平成11年9月30日



# ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、平成11年9月30日をもって、第53期上半期を終了いたしましたので、ここに営業の概況と中間決算のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。



当上半期の我が国経済は、不良債権問題や規制撤廃による金融業界の再編が進み、また政策効果や在庫調整の進展等もあり、極めて緩やかな回復局面にあったと言われているものの依然不況感は拭えませんでした。

また、医療業界におきましても、医療保険財政の悪化を背景とした設備投資の縮小傾向は、未だ回復する兆しもなく市場環境は厳しい状況の中で推移いたしました。

当社はこのような環境のもと、積極的な販売活動ならびにサービス体制の強化に努め、売上高208億68百万円（前年同期比6.1%増）、経常利益22億94百万円（前年同期比46.4%増）、中間利益13億55百万円（前年同期比1.4%増）となりました。市場別に売上高を見ますと、国内売上高は193億83百万円（前年同期比8.7%増）、輸出売上高は為替相場が円高基調で推移した結果、北米輸出の低調をまねき、14億85百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

これを部門別に見ますと、生体検査装置部門では自動解析付心電計、長時間心電図記録器、超音波画像診断装置、血球カウンター等が順調に推移し、売上高78億98百万円（前年同期比6.5%増）、生体情報モニタ部門は大型システム品の受注もあり、売上高は19億44百万円（前年同期比3.5%増）、治療装置部門は在宅酸素濃縮器およびペースメーカーが伸びを示し、売上高60億65百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

その他部門は、上記部門の器械装置に使用する付属品および消耗品類ですが、売上高は49億60百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

また、通期の業績予想につきましては、国内経済は回復の兆しを見せてはいるものの、未だ過度の楽観は許されない状態であり、医療業界におきましても設備投資の縮小傾向はさらに厳しくなるものと考えられ、下半期においては上半期にも増して厳しくなることが予測されます。

当社といたしましては、市場を喚起するようなユーザーニーズに即した新製品の投入に加え、品質向上とコスト低減に重点を置き、企業としての競争力を高め営業努力により業績向上に努めてまいります。

なお、西暦2000年問題に関しましては、情報の提供、対応ソフトウェアへの入替え等の対応を進めるとともに、不足の事態に備える為の危機管理計画も策定し、緊急時の要請に対しても迅速に対応出来るように体制を整えております。

これらの対策費用はこれまでも発生しており、今後若干の発生が予想されますが、多額の費用が発生することは無く、経営活動、業務運営に影響をおよぼすことは無いと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年12月

取締役社長

福田 考太郎

# 中間貸借対照表

(平成11年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
流動資産	41,108,337	流動負債	10,207,613
現金及び預金	14,703,846	支払手形	5,247,818
受取手形	18,696	買掛金	2,949,684
売掛金	16,117,220	未払金	957,893
有価証券	103,546	未払法人税等	461,856
商品	1,867,723	賞与引当金	485,000
製品	2,628,853	その他の流動負債	105,361
原材料	868,554	固定負債	1,339,799
仕掛品	615,828	退職給与引当金	571,599
貯蔵品	144,781	役員退職慰労引当金	758,200
短期貸付金	3,500,050	その他の固定負債	10,000
繰延税金資産	759,133		
その他の流動資産	1,020,103	<b>負債合計</b>	<b>11,547,413</b>
貸倒引当金	1,240,000		
固定資産	17,528,975	<b>資 本 の 部</b>	
有形固定資産	5,104,709	資本金	4,387,000
建物	1,860,408	法定準備金	9,780,313
工具器具備品	514,206	資本準備金	8,683,563
土地	2,389,479	利益準備金	1,096,750
その他の有形固定資産	340,615	剰余金	32,922,585
無形固定資産	724,633	任意積立金	26,348,214
投資等	11,699,631	事業拡張積立金	300,000
投資有価証券	4,648,070	圧縮積立金	48,214
子会社株式	3,750,053	別途積立金	26,000,000
繰延税金資産	1,380,748	中間未処分利益	6,574,371
その他の投資等	2,875,758		
貸倒引当金	311,000	<b>資本合計</b>	<b>47,089,899</b>
投資評価引当金	644,000		
<b>資産合計</b>	<b>58,637,312</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>58,637,312</b>

(注)

- 子会社に対する短期金銭債権 19,363,973千円
- 子会社に対する長期金銭債権 310,155千円
- 子会社に対する短期金銭債務 3,265,214千円
- 有価証券に含まれている自己株式 3,756千円
- 有形固定資産の減価償却累計額 4,920,486千円
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している電子計算機一式があります。
- 重要な外貨建て資産及び負債
 

現金及び預金	167,447千円 (US \$ 1,565千)
売掛金	851,884千円 (US \$ 7,965千)
投資有価証券	1,497,726千円 (US \$ 11,775千)
子会社株式	883,754千円 (US \$ 6,800千)
長期貸付金	310,155千円 (US \$ 2,900千)
子会社出資金	139,252千円 (US \$ 1,330千)
買掛金	655,978千円 (US \$ 6,133千)
	777,164千円 (DM 13,378千)
- 保証債務残高
 

子会社の金融機関借入に対する保証	
国内	27,690千円
国外	280,957千円 (US \$ 2,627千)
- 輸出手形割引高 112,453千円
- 1株当たり中間利益 69円85銭

# 中間損益計算書

(平成11年4月1日から平成11年9月30日まで)

科		目	金	額	
			千円	千円	
経常損益の部	営業損益の部	営業収益			
		売上高		20,868,675	
		営業費用			
		売上原価	15,067,464		
			販売費及び一般管理費	4,067,015	19,134,480
			営業利益		1,734,195
	営業外損益の部	営業外損益の部	営業外収益		
			受取利息	45,200	
			受取配当金	349,056	
			その他の営業外収益	217,774	612,030
営業外費用					
支払利息			994		
過去勤務費用退職年金			43,598		
		その他の営業外費用	6,725	51,319	
		経常利益		2,294,906	
特別損益の部	特別損益の部	特別利益			
		保険解約益	545,907	545,907	
		特別損失			
		固定資産除却損	4,032		
		役員退職慰労金	715,720	719,752	
		税引前中間利益		2,121,061	
		法人税・住民税及び事業税		500,000	
		法人税等調整額		265,695	
		中間利益		1,355,365	
		前期繰越利益		2,778,441	
		過年度税効果調整額		2,405,577	
		税効果会計適用に伴う固定資産圧縮積立金取崩高		34,985	
		中間未処分利益		6,574,371	

(注)

子会社との取引高

売上高	19,442,014千円
仕入高	5,282,928千円
営業取引以外の取引高	474,001千円

(その他)

当社は平成11年11月29日開催の取締役会において、北米地域における販売体制の見直しにより、子会社であるフクダ電子アメリカコーポレーション（アメリカワシントン州）を解散し清算することを決議しました。

これに伴い、平成12年3月期決算において発生する子会社整理損は1,600,000千円（債権回収不能額1,075,451千円、出資額524,549千円）と見込まれますが、当該子会社に対する債権および出資額については、過年度に貸倒引当金757,000千円および投資評価引当金524,000千円を計上しております。なお、当中間会計期間において、今後見込まれる追加損失負担額のうち、合理的に算出する損失額293,000千円について貸倒引当金を追加計上しております。

# 会社の概要

商号	フクダ電子株式会社
設立年月日	昭和23年7月6日
資本金	43億8,700万円
事業所	本社 / 東京都文京区本郷3 - 39 - 4 本郷事業所 / 東京都文京区本郷2 - 35 - 8 白井事業所 / 千葉県印旛郡白井町中字中台305 - 1 (白井工業団地内)
営業目的	医用電子機器の製造・販売および輸出入
取扱品目	生体検査装置 / 心電計、心電図自動解析装置、長時間心電図記録解析装置、ストレステストシステム、血圧計、超音波画像診断装置 生体情報モニタ / 集中監視装置、ベッドサイドモニタ、医用テレメータ 治療装置 / ペースメーカー、心細動除去装置、人工呼吸装置、在宅酸素濃縮器 その他 / 記録紙、電極、各装置の補用品
株式の状況	発行する株式の総数 30,000,000株 発行済株式の総数 19,404,000株 当中間期末株主数 2,408名
役員	代表取締役社長 福田 孝太郎 常務取締役 高橋 隆夫 常務取締役 高原 輝夫 常務取締役 山村 剛良 取締役 大表 良一 取締役 大鈴 勇勝 取締役 島田 正進 取締役 瀬川 雅行 取締役 岩本 昇 取締役 山本 良幸 取締役 吉川 正法 常勤監査役 小岡 芳織 監査役 岡田 保 監査役 田村 田

<p>株主メモ  <b>決算時株主総会          配当金</b></p>	<p>毎年3月31日（年1回）          毎年6月開催          3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主または信託の受託者、登録質権者に定時株主総会終了後お支払いいたします。</p>
<p><b>基準日</b></p>	<p>中間配当金は、取締役会の決議があった場合に、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主または信託の受託者、登録質権者にお支払いいたします。          毎年3月31日（定時株主総会において議決権を行使することができる株主の確定日）          そのほか、必要ある場合は取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。</p>
<p><b>名義書換代理人          同事務取扱場所</b></p>	<p>大阪市中央区北浜四丁目5番33号          住友信託銀行株式会社          東京都千代田区丸の内一丁目4番4号          住友信託銀行株式会社</p>
<p><b>（郵便物送付先）          電話お問合せ先</b></p>	<p>証券代行部          郵便番号 〒183-8701          東京都府中市日鋼町1番10          住友信託銀行株式会社</p>
<p><b>同取次所</b></p>	<p>証券代行部          電話 東京 府中（042）351-2211          大阪 千里（06）6833-4700          住友信託銀行株式会社          本店および全国各支店</p>
<p><b>1単位の株式の数</b></p>	<p>1,000株</p>
<p><b>単位未満株式買取          買取請求取扱場所</b></p>	<p>上記名義書換代理人がお取扱いします。</p>
<p><b>手数料</b></p>	<p>下記算式における1単位 <u>買取株式数</u>  <math>\text{売買委託手数料相当額} \times \frac{1,000 \text{株}}{1,000 \text{株}}</math>          （算式）          1株当たりの売買値段に1単位の株式数を乗じた合計金額のうち          100万円以下の金額につき 1.150%          100万円を超え500万円以下の金額につき 0.900%          500万円を超え1,000万円以下の金額につき 0.700%          1,000万円を超え3,000万円以下の金額につき 0.575%          3,000万円を超え5,000万円以下の金額につき 0.375%          （円位未満の端数を生じた場合には切り捨てる。）          ただし、1単位当たりの算定金額が2,500円に満たない場合には、2,500円とする。          東京都において発行する日本経済新聞</p>
<p><b>公告掲載新聞</b></p>	



医療と健康をつなぐ  
テクノロジー



**フクダ電子株式会社**

本社 東京都文京区本郷3-39-4 ☎(03)3815-2121(代)

ホームページ

<http://www.fukuda.co.jp/>